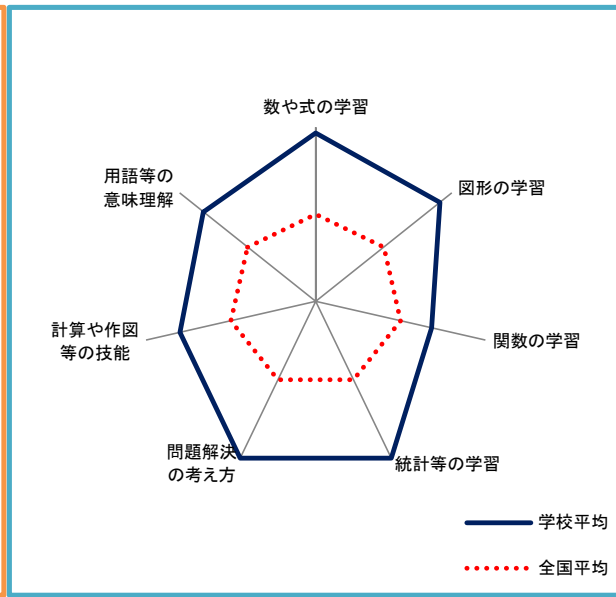
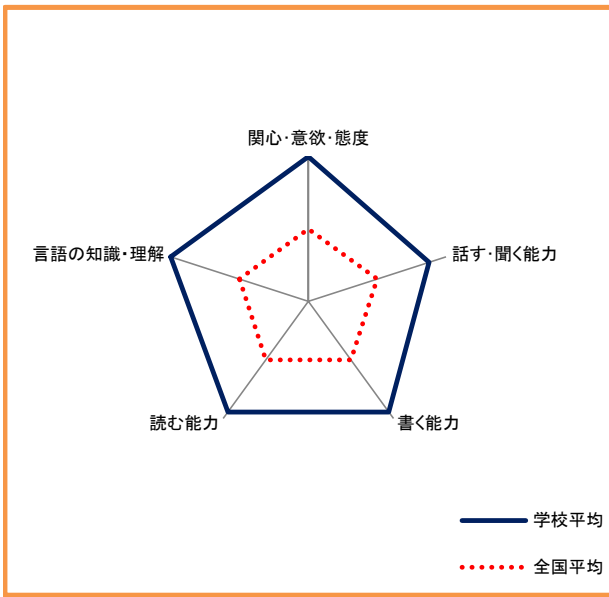
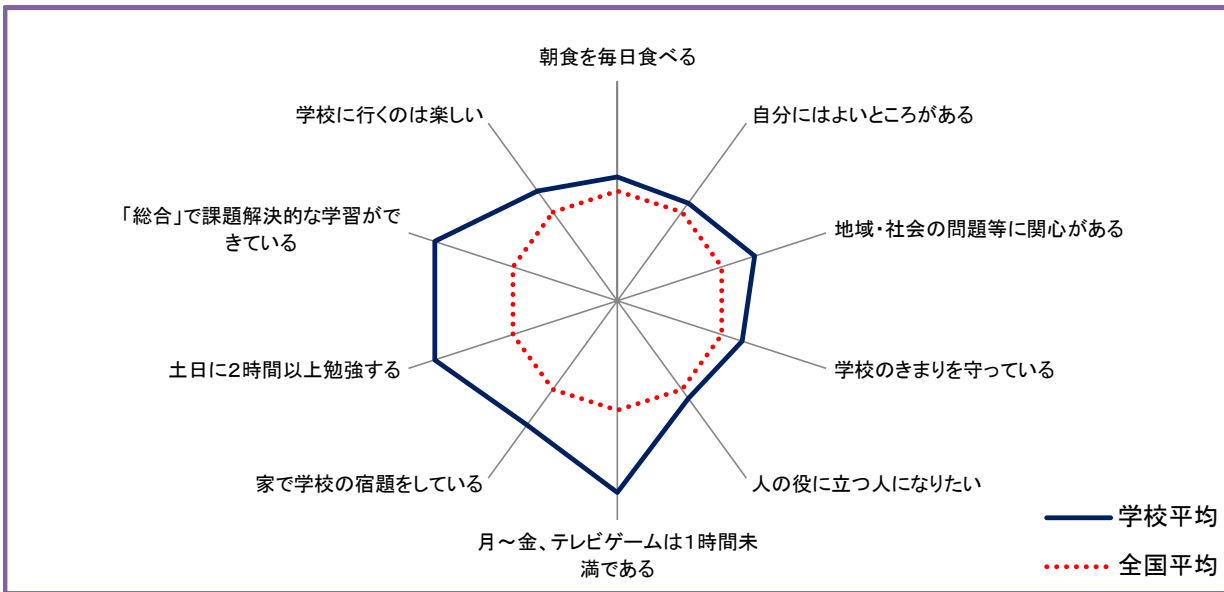


○ 教科に関する調査（全国の平均正答率との差）  
【国語】 【数学】

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示



○ 生徒質問紙調査（全国の平均回答率との差：肯定的な回答）



〈教科に関する調査〉

【国語】の平均正答率は、全ての項目で全国平均を上回っており、学習内容が確実に定着していることがうかがえる。また、「言語の知識・理解」だけでなく、「読む能力」、「書く能力」の項目において、全国平均からの上回りが大きく、日頃から、目的に応じて必要な情報を読み取ったり根拠を明確にして自分の考えを書いたりするといった活用力を向上させる指導の成果が現れているものと考えられる。今後とも、各学校において、漢字の読み書きや語彙などの基礎・基本の定着を図るとともに、表現の仕方について評価したり書き手の意図を捉えたりする力や、自分の考えを適切に表現する力を身に付けさせる指導の充実を期待したい。

【数学】の平均正答率は、全ての項目で全国平均を上回っており、学習内容が確実に定着していることがうかがえる。「問題解決の考え方」の項目で全国平均を大きく上回っており、習得した内容を活用し、見通しを立てて課題に取り組む指導を充実させている成果が現れたものと考えている。また、「統計等の学習」の項目でも、全国平均を大きく上回っており、新学習指導要領に対応した指導の成果が現れたものと考えている。今後とも、実験や操作を通して、見通しや予想を立てながら学習を進めるといった、主体性を重視した活動を推進することにより、数学に対する関心や意欲を高めるとともに、身に付けた知識・技能を活用して課題を解決する態度の更なる育成を期待したい。

〈生徒質問紙調査〉

朝食を毎日食べている生徒の割合や、学校の規則を守っている生徒の割合が高く、長時間ゲーム等をする生徒は少ない。学校に行くことが楽しいと感じている生徒の割合も全国と比べて高い。これらのことから、基本的な生活習慣が身に付いている生徒の割合が高く、学習に対する前向きな姿勢が育っていることがうかがえる。また、家で学校の宿題をしている生徒や、休日に学習に取り組む生徒の割合が、全国と比べて高く、家庭学習を中心に自主学習に取り組む姿勢が身に付いていると考えられる。今後とも、望ましい生活習慣を身に付けさせることができるよう、家庭と連携した指導が継続されることを期待したい。